

会 議 事 録

				記録者	教育総務課主事 福智		
供 覧	教育長	部長	課長	補佐	主査・係長	G員	
件 名	令和4年度第1回龍ヶ崎市総合教育会議						
日 時	令和4年9月28日（水） 午後1時30分から午後2時50分まで						
場 所	市役所5階全員協議会室						
主 宰	萩原 勇 市長						
出席者	<p>萩原市長，大古教育長，斎藤教育長職務代理者，野中委員，山崎委員，膳法委員</p> <p>木村市長公室長，中村教育部長，岡野企画課長，名島教育総務課長，国松文化・生涯学習課長，本橋指導課長，千葉教育センター所長，岩井学校給食センター所長，関ヶ原教育総務課長補佐，石山教育総務課主幹，記録者</p>						
欠席者	なし						
傍 聴	なし						
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 議 題</p> <p>（1）次期龍ヶ崎市教育プランの素案について</p> <p>（2）教職員の働き方改革の進捗状況について</p> <p>4 閉 会</p>						
情報公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開	非公開（一部公開を含む）とする理由			(龍ヶ崎市情報公開条例9条 号該当)		
	部分公開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）					
	非 公 開				年	月	日

<p>企画課長</p>	<p>皆さんこんにちは。 定刻となりましたので、ただ今より、令和4年度第1回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。 まず始めに、萩原市長から御挨拶申し上げます。</p>
<p>萩原市長</p>	<p>皆さんこんにちは。龍ヶ崎市長の萩原でございます。 教育委員会の皆様、本日は御多忙の中、龍ヶ崎市総合教育会議に御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。 また、本市の教育の発展のために、皆様方には、日頃より御尽力をいただいておりますことに重ねて御礼を申し上げます。 さて、この総合教育会議ですが、本年3月に開催して以来、半年ぶりの開催となります。 この間、4月には大古教育長、山崎委員を、7月には膳法委員を新たに教育委員にお迎えしまして、それぞれの分野での豊富な御経験を踏まえて、本市の教育行政の様々な課題に御対応をいただいているところでございます。 教育長及びお二人の委員にとっては、本日が初めての総合教育会議となりますが、今後ともこのような場を通じて、教育委員会の皆様との連携を図っていききたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。 本日の総合教育会議でございますが、「次期教育プラン」と「教職員の働き方改革」を議題として取り上げさせていただきたいと思っております。 次期教育プランの関連になりますが、現在、本市では2023年1月から2031年3月までを計画期間とする次期最上位計画「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」の策定に向けて、市民の皆様から御意見を募集する「パブリックコメント手続」を実施しております。 また、本年7月には、次期最上位計画策定の参考とするため、市内全てのコミュニティセンター、13か所において、市民の皆様と意見交換をしてきました。 延べ142人の方々に御参加いただき、計画の内容だけではなく、教育に関する内容も含めて、市政全般にわたる様々な御意見、御提案をいただきました。 意見交換会でいただいた皆様方の思いについては、内容を反映できるものは反映させていただいて、今後の市政運営、次期教育プランの策定にも生かしてまいりたいと思っております。 また、市長として、このような市民の皆様との対話を今後も継続をしていきます。 本日の二つ目のテーマ「教職員の働き方改革」につきましては、現場の先生方が心身ともに健康な状態を保ち、子どもたちと向き合える時間をしっかり確保するための取組でございます。 様々な取組を積み重ねることによって、質の高い教育を子どもたちに提供できるものと考えております。 この教職員の働き方改革を進める上で、大きな柱の一つとなるものが「休日の部活動の地域移行」であると捉えております。 この地域移行の実現に向けては、関係機関・関係団体の御協力をいただくとともに、教育委員会だけではなく、市の関係部局が連携した取組に発展させていかなければなりません。 そのような意味でも、総合教育会議で議論すべき重要なテーマとして、本日より取り上げさせていただいたところでございますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。</p>

	<p>最後になりますが、本日は、皆様の忌憚のない御意見をいただくとともに、この総合教育会議における議論が、本市の教育の更なる発展につながることを期待して、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
<p>企画課長</p>	<p>それでは、早速議事に移ってまいりたいと思います。</p> <p>議事の進行につきましては、総合教育会議の主宰者である萩原市長にお願いしたいと思います。</p> <p>萩原市長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>萩原市長</p>	<p>それでは、総合教育会議の議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議の時間については、午後2時50分の終了を予定しております。</p> <p>委員の皆様方には、会議の円滑な進行につきましても、併せて御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、会議次第に基づき、議事を進めてまいります。</p> <p>始めに、議題1「次期龍ヶ崎市教育プランの素案について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料に基づき説明)</p>
<p>萩原市長</p>	<p>はい。ただ今、事務局から説明がございました案件につきまして、委員の皆様から御意見、御提案等をいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>これ以外にも何か気になるような事があったらですね、このような文章で書かれているとなかなか難しいので。</p> <p>日頃感じているようなことでも、例えば、山崎委員だったら、いつも子どもを送り迎えしていて、感じることもあるでしょう。</p> <p>安全確保とかそういったもの、子どもたちが、どうやって安全に安心して過ごせるか。</p> <p>将来、日本を背負って立つ子どもにしたいわけですから。</p> <p>何か感じているということがあれば言っていただければ、多分どこかには入っているんですけども、ただ、そこがちょっと足りないなんていうのが見えてくると思うので。ALTはどうするのとかね。</p>
<p>膳法委員</p>	<p>この中に入っているのか、詳細まで読みきれていないんですけども、以前、私の大学の方で、LGBTの学生がいたんです。</p> <p>実際に小学校・中学校の時から、特に中学校の時に苦しかったというか、過ごし方がちょっと辛かったというような話があったんですけども、具体的にそういう方を対象にした取組というのはあるんでしょうか。</p>
<p>指導課長</p>	<p>LGBTに関して、現在、取り組んでいることでよろしいでしょうか。</p> <p>資料の37ページの具体的な施策の2番「人権教育の充実」というところがございます。</p> <p>そちらの「児童生徒が自他の良さや多様性を認め合い」というところで、実はLGBTであったり、SOGIであったり、そのような題材を取り入れた教育活動を学校で展開しております。以上です。</p>

膳法委員	もし可能であれば、具体的に教育するというよりは、環境が大事なのかなというふうに思うので、そういった取組があるのかという点について教えてもらっていいですか。
指導課長	今、取り組んでいるところで、目新しいものやお話できるような内容は、特にございませぬ。
膳法委員	大学でそういった取組をしようということで、特に新松戸校舎を中心に、男女隔てなく過ごせるような環境づくりというのをやっていたりするので、そういうところも、これから一緒にやっていければいいのかなというふうに聞いていて思いました。以上です。
教育部長	少し角度変えたお話としまして、この4月に愛宕中学校と城南中学校が統合しまして、龍ヶ崎中学校が開校したわけなんですけれども、制服については、女子生徒もスラックスやネクタイを着用できるようにしました。そういう意味でも、LGBT には若干対応できているのかなというふうには思っております。以上です。
斎藤職務代理者	<p>直接、施策を実行していく上での前提ということになるんだと思うんですけども、このアンケート調査は、ちょっと気になりました。</p> <p>現在の教育の実態というか、子どもたちの姿又は保護者の思い、そんなものがいろいろ出てきて、これを受けながら、もちろん施策を作ってきたということだと思うのですが、ただ、このアンケートは、コロナ禍中に実施したものですよね。</p> <p>普段とは何か違うのかなということがちょっと気になったんですね。気になったというよりも、追跡していくともっといろいろなことが分かってくるのかなと思いました。</p> <p>例えば、コロナが終息して、元に戻ってくると、子どもたちの反応又は保護者の反応も変わってくるのかなと。</p> <p>こういうものは今後とも追跡できれば、教育行政の立場としてもありがたいし、学校としてもよく分かるのではないかというふうに感想を持ちました。</p> <p>今後これについて、計画的に考えることはあるのかどうか、ちょっとお聞きしたいです。</p>
大古教育長	ありがとうございます。アンケート項目を見てみますと、各学校で保護者を対象として学期ごとに、全国で取っているようなアンケート調査の項目に非常に類似したものも多くありますので、そちらも使いながら意見を反映できるようにしていければなと思っております。また、全市ではなくても、各学校でそういったアンケートを実施できればなというふうに思っております。
斎藤職務代理者	<p>38 ページの基本方針3「たくましく健やかな体を育みます」というところで、以前から私は、体力づくり、普段の運動又は体作りが教育する上で基本であると考えています。</p> <p>これを大事にしていかなければいけないだろうということで、遊びも含めて、体を動かすということを大事にしたいなと思ってます。</p> <p>この中の現状と課題の中にある、「体力アップ推進プラン・体力アップ1校1プラン」というのは、具体的にはどういうことをするのか、分かれば教えていただきたいと思いました。</p>

<p>指導課長</p>	<p>体力アップ1校1プランの具体的な内容でよろしいでしょうか。</p> <p>現在の龍ヶ崎市の子どもたちの体力については、委員が御心配されるとおり、低下傾向にあるというところが事実でございます。</p> <p>特に投力においては、非常に悩ましい結果が出ているところでありまして、ただ、投力が高い学校もありますので、投力が落ち込んでいる学校は、昼休み又は業間休み等に、ボール投げ遊びができる計画を立てながら、プランとして活動をしております。</p> <p>また、柔軟性が非常に弱いという学校については、昼休み等に柔軟運動を取り入れたストレッチ体操を行っている学校もございます。以上です。</p>
<p>斎藤職務代理者</p>	<p>子どもたちに意図的に、そういう活動をするような場を設けていくということは、非常に大切なことだと思うので、そういうことがうまく日常化につながっていくこと、各学校がそれぞれの特徴に応じてやっていくことが大事な点だと思うんですね。</p> <p>できれば本当は遊びの中で、そういうことができれば一番良い。</p> <p>友達と遊びながらやっていくと人間関係づくりにもつながっていきますので、外遊びとか内遊びがあるんですが、特に外遊びは、子どもの交流のためには大事だし、そこに体力が付いてくれば、なお結構なことだと思うので、是非こういうことを引き続き大事にしてもらいたい。</p> <p>その後半にも書いてあるように、肥満傾向の問題もありますね。</p> <p>こういうことに対してもやはり、いかに運動をさせていくかということ。</p> <p>また、外遊びをどれだけ奨励していくかということも、少しの手助けになるのではないかと思います。</p> <p>その辺りを最も大事にしていってほしいなという思いでございます。以上です。</p>
<p>膳法委員</p>	<p>部活動の適正化と改革の推進というところがメインでという話だったと思うのですが、恐らく私の大学が貢献できるのかなという部分にはなるのですが、ただ、大学生なので入れ替わりがあるというのが現状なので、具体的に軸の先生がいて、どう運営していくのかということが結構大事なのかなと思うので、「地域移行に取り組みます」という取組方が、今どういうふうに進んでいるのか、もしお分かりになれば、教えていただきたいです。</p>
<p>大古教育長</p>	<p>今年度から1名を部活動指導員として、城ノ内中学校陸上部に配置して、試験的なモデルケースとして取り組み始めたところでございます。</p> <p>休日における部活動を完全に地域移行するという目標ではありますが、もちろん、たくさんの課題があるということは御承知のとおりで、そもそも出発点として、どうしても働き方改革が先頭に出ているようなのですが、実態としては、子どもたちが学校で単独チームを組めないような少子化傾向が加速しているということがあります。</p> <p>今回の新人戦の様子を見ても、サッカーなどは、2つの学校で1チーム、3つの学校で1チームという現状です。</p> <p>ですから、市内大会が1試合で終わるという状況が生まれております。</p> <p>こういう状況では、それぞれの中学校で活動することについては、非常に大きな障害があるであろうと思います。</p> <p>このようなことから、地域移行ということが叫ばれているところでございます。</p> <p>一方で、指導者の確保ということになった場合に、部活の指導経験があると</p>

	<p>か教職の経験があるとか、大変厳しい条件がある中で、指導者の確保、それからそういうことを受け入れてくださる団体、さらに厳しいことを言うと、部活動内でトラブルがあった場合に、その対応もしなければならないという非常に高いものを求められていますので、先ほど膳法委員がおっしゃったように、本市には流通経済大学をはじめ、スポーツ協会等、支援していただけそうな団体がたくさんありますので、まずはその受入先として、可能な所にこれからお話をしていきながら、どういう種目で受け入れてもらったらよいか、今日も会議の後半で出てくると思うんですけども、どのように中学校を組み合わせたら、部活動が競技として成り立ち、継続できるかというようなことも考えて、さらには、現在はけがをした場合に、日本スポーツ振興センターの保険が適用になっておりますけれども、地域移行した場合には適用外になります。</p> <p>一方では、受益者負担ということで、保護者に費用負担を願うということも考えられているような話も出ております。</p> <p>そのときには、行政が何らかの手立てをしていかなければならないというのは、教育委員会事務局でも話しているところではありますが、そもそも、これまで教職員の奉仕で成り立っていた部活動ですので、これは大きく見直す機会かなというふうに思っております。</p> <p>課題も含めてお話させていただきました。以上です。</p>
<p>膳法委員</p>	<p>競技レベルというか、目指すところやモチベーションが各々だと思んですけども、本気でやるというか全国レベルを目指すのか、本当にエンジョイというか、スポーツを覚えるために部活動が存在するのかというような、そういった目標はあった方がいいのかなというふうに思いますので、エンジョイレベルなのかどうかというようなところも一緒に併せて、御検討いただければと思います。</p>
<p>萩原市長</p>	<p>私からちょっとよろしいですかね。</p> <p>この間、日本ハムファイターズと協定を結んできまして、例えば、北海道とか他県とか、もしかしたら外国になったりもするかもしれないんですけども、そのような連携をするというようなことは、どこかに書いてありますか。</p> <p>書いていなければ、そういうふうなことは、協定を結んだことによって、連携が始まってきますから、そのようなイメージでどこかに追加していただくとうれしいかなと思います。</p> <p>また、この間、広島の方に行かせていただいたときに、平和教育というのは大事なんですが、地域のいろいろな世界遺産とかも含めて体験できるように、平和教育だけではなくて、その近くに行ったからこそ勉強できるようなものを付け加えて書いていただくとうれしいかなと思います。</p>
<p>野中委員</p>	<p>43 ページにあります「働き方改革の推進」という部分に関しまして、僕は会社をやっておりますので、どうしても残業をなくしていくということが、第1目標にあって、ただ残業をなくすことによって、売上げが下がるということはあってはならないという部分もあって、ジレンマの中でやるわけですけども、教職員の皆様方は多分、小学校の先生と中学校の先生で時間の作り方が違うんじゃないのかなというふうに思うんですけども、小学校だとクラスを持って全教科を教えるみたいなイメージがありまして、中学校は、単科で自分の得意な分野のものだけを教えて、ただそこに部活が付いてくるという部分があって、小学校の先生は、授業を6時間なら6時間のものを全部準備しなければいけないという忙しさと、中学校の先生は、授業が終わった後、部活をやら</p>

<p>大古教育長</p>	<p>なくちゃいけないという忙しさのパターンで、どのように小学校と中学校の先生方の働き方改革を行っているのかというのを教えてもらえればなどというふうに思います。</p> <p>小学校と中学校では、当然と言ったら申し訳ないんですけども、中学校の方が時間外勤務はどうしても長くなっております。</p> <p>端的に言えば、やっぱり運動部活動に関わる時間は、明らかに多くなっております。</p> <p>一方で、小学校は全科教えるというお話もありましたが、最近、中規模校以上では、教科担任制も取り入れておりますので、自分の受け持つ教科もちょっとずつ少なくなっているのです、その準備については効率化が図られてきているかなと思います。</p> <p>一方で、先生という職業の特徴的なところでもあるんですが、時間が空いたからといって、すぐ帰るということではなく、もっと子どもたちにこんなふうやってあげたかったということに、時間を費やしてしまっ、減らした分がそのまま時間外を縮減するということについていない。</p> <p>この意識改革をするということで、徐々にではありますが、意識化されてきたところではあります。</p> <p>中学校においては、運動部活動についても、大きく分ければ2つありまして、そもそも運動部活動の顧問をやりたくて、中学校の教師を目指した者。</p> <p>それから、中学校の教師を目指したけれども、特に運動部活動については、専門外の部活動を持っている方も半分くらいいらっしゃいますので、その方にとっては大変な思いをしているということは認識しております。</p> <p>その方にとって、働きやすくするための部活動地域移行ということについては、大きく考えられるし、一方では運動部活動を夢見て、中学教員を目指した者にも、地域に移行した後でも、運動部活動に関われるような道筋も残してあげたいというふうには思っております。</p> <p>働き方改革の中では、どうしても中学校の運動部活動ということが一番大きく関わっているかなというふうに思います。以上です。</p>
<p>萩原市長</p>	<p>働き方改革については、次で詳しくやりますから。イメージだけ持っていて。</p>
<p>教育部長</p>	<p>先ほど、市長の方から御提案をいただいたお話なんですけれども、まず、広島や世界遺産のお話があったと思うんですけども、これにつきましては37ページを御覧いただきたいんですけども、37ページの具体的な施策の4番「平和教育の推進」という項目がありまして、この中で広島訪問であったり、世界遺産という文言はありませんけれども、こういったところで対応することは可能なかなというふうに考えております。</p> <p>続きまして、日本ハムファイターズの北海道や外国との関係ということですけども、こちらにつきましては、41ページを御覧いただければと思います。</p> <p>こちららも施策の3番「キャリア教育の充実」ということで、こちらの方で例えば、生徒一人一人が外国との関わりを持ちたいとか、北海道との関わりを持ちたいということであれば、こちらで対応していくことは可能なかなというふうに考えております。以上でございます。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>45ページの「登下校時等の安全確保」なんですけれども、龍ヶ崎市内には、大学や高校もありまして、朝の子どもたちの通学時間中、高校・大学に通</p>

<p>萩原市長</p>	<p>う自転車通学の方とよくすれ違うことがありますて、私の地区になりますと羽原地区なんですけれども、歩道がものすごく狭くて車道も狭いので、なかなか自転車通学の子が車道を走ることが危険なので、歩道を走ることが多いんですね。</p> <p>その際、小学生はランドセルを背負っていて、道幅も狭いので、いつも登校するときに接触するんじゃないかと思うようなことが多々あります。</p> <p>ですから、小学生の子どもたちだけの交通安全教室ではなくて、大学生とか高校生などにも呼びかけていただいて、お互いに気持ち良く通学できるようにしていただければなと思いました。以上です</p>
<p>大古教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>これについては多分やっていると思うんですけども、やはり、毎日送り迎えていますから、本当に危険だなというふうに感じるんでしょうけれども、今、現状はどんな所が危険だとか聞いているところがあれば、教えていただけますでしょうか。</p> <p>このコロナ禍で、実際に対面での会議が行われているか、私も現場を離れてしまったので分からないのですが、学警連という組織の中で、市内の小中高の代表者が集まって、その問題を提起して、それに向けて一緒に解決していきましようといった集まりはありますので、その中で警察の方がいらしたりするんですね。</p> <p>その中で、小学校の交通安全教室に関しては、特に新入生への安全を最優先にして考えていますので、十分に行っているんですが、なかなか高校等で実施しているという話を、私も何年もその集まりに出ていたんですが何ったことはなかったもので、次の機会があるときには、そういう話題も出していきたいと思っております。</p> <p>私も毎日の出勤のときに、山崎委員が子どもたちの先頭に立って、細い歩道の所を通られている様子を拝見させていただいて、丁字路を車が飛び出してくるような所があつて危ないと感じておりました。</p> <p>それから、自転車の子たちもバイクの人たちも、出たり入ったりという非常に厳しい状況ありますので、今、市長もおっしゃったように、学校ごとに保護者ととともに地域を巡回して、安全マップ作りをしたりとか、そういう取組もコロナ禍前はやっておりましたので、また時期を鑑みて、そういうものができることによって、子どもたちも危険箇所を認識して、十分注意するんだということを保護者や教職員とともに、理解が進められればなというふうに思っております。</p>
<p>萩原市長</p>	<p>一つ補足させていただくと、昨日、流通経済大学の学生に交通安全のビブスの委嘱式というのをやって、サッカー部と女子ラグビー部の子たちに来ていただいて、見守り活動とかそういうことは、プランにも書いてありますけども、やっていくようにします。ありがとうございます。</p>
<p>斎藤職務代理者</p>	<p>この中にもある、スマートフォンとかゲーム、インターネット、これらに対して何か学校は指導していると思うのですが、指導の現状としてはどうなんですか。</p>
<p>指導課長</p>	<p>はい。回答させていただきます。</p> <p>年々、スマートフォンを持つお子さんの年齢が、どんどんどんどん低くなっ</p>

	<p>ております。</p> <p>10年前だと高校生になるときに持たせていたのが、今は中学生になると塾に行かせるから持たせる。ここ最近では、小学校3、4年生辺りから防犯機能、GPS機能も付いているので、持たせている御家庭が多くなってきております。</p> <p>その際、学校においても情報モラル教育について、こういうことが危険ですよというのを、子ども対象と保護者対象に行っております。</p> <p>さらに、保護者の方には別で残っていただいて、こういうふうにはフィルタリングを掛けてくださいねという講演をしてもらってはいるのですが、現状から申し上げると、先にご購入してしまったものにフィルターを掛けるのは、なかなか各御家庭で難しいというのが現状で、一回自由にしてしまったものは、なかなか難しいですという報告を受けています。</p> <p>ただ、そこは負けないでフィルタリングを掛けてくださいというところで、お願いをしています。</p> <p>それから、SNSに関する誹謗中傷等も事故報告等で上がってくるんですけども、加害と言われる子どもたちは、何気なく発信している内容なんですけれども、受け取った側とすると、そんなこと言われてちょっとショックだったというところで、トラブルになっているケースもございます。</p> <p>現在のところ、教育センターの方が関わってくださっていて、こじれているということはありません。</p> <p>トラブルはあったけれども、きちんと解消しております。</p> <p>現在のところ、そのような状況です。</p>
<p>大古教育長</p>	<p>今、指導課長からお話があったとおりなんですけど、実際にSNS等については、ものによってなんですけれども、12歳以下の子どもたちは、そこには本来参加できないようになってきているものがほとんどなんですけど、年齢が13歳以上ですかという問いに、はいと答えてしまえば、サイト等に入れてしまうので、非常に対応が難しいと感じております。</p>
<p>斎藤職務代理者</p>	<p>先程の件に付け足して、スマートフォンを学校に持ち込んではいけないということではないんですか。</p>
<p>指導課長</p>	<p>はい。お答えします。</p> <p>持ち込んではいけないとは、言っておりません。</p> <p>持ち込む場合には、個別に対応しますので、お話してくださいというふうに保護者の方をお願いをしています。以上です。</p>
<p>萩原市長</p>	<p>よろしいですか。それではいいですかね。</p> <p>議題1については終わりにしまして、次に移らせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、議題2「教職員の働き方改革の進捗状況」について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料に基づき説明)</p>
<p>萩原市長</p>	<p>ただ今、事務局から説明がございました。</p> <p>この件につきまして、委員の皆様から御意見、御提案があればお願いいたします。</p>

<p>膳法委員</p>	<p>先ほどもお話ししたかなと思うんですが、競技レベルの高い所を目指す人と、エンジョイというのが二分してくるのかなというところで、体力レベルを上げたいという目標もあったと思うんですけども、エンジョイでやりたい子たちは、逆にスポーツから離れていってしまうのではないかなというところが懸念事項なんですけれども、その辺りはどういうふうにお考えでしょうか。</p>
<p>指導課長</p>	<p>現在、そのところについては、まだ未定のところで、本市には、例えば野球で言えば、ボーイズリーグであったり、シニアリーグやリトルリーグであったり、民間のスポーツ団体もたくさんあるので、レベルが高いところでやりたいというお子さんについては、そちらに行かれる可能性もあります。</p> <p>ただ今後、県や国がどういう大会にしていくのかということも見えないところなので、そういうところも考えながら、簡単に言うと、野球の甲子園大会みたいなものの中学校版はなくなっていってしまうのかなと心配をしているところで、そういうところも見据えながら、今後検討していきたいと考えております。</p>
<p>大古教育長</p>	<p>現在の中学校における運動部活動の中では、勝利至上主義という言葉がとても悪いかのように捉えられていますが、どちらかといえば、否定的な考えが特に強いと思います。</p> <p>中学校の部活動は、学校教育の一部として、今の指導要領の中では捉えられておりますので、中には技能を高めたいという子もいて、それから運動を楽しみたいという子、どちらがいても良いというスタンスでやっているんですが、時折、ちょっと暴走してしまうようなことも無きにしもあらずではあるんですけども、そういうスタンスで行っております。</p> <p>ただ、部活動の地域移行といった場合に、名前は部活動でもクラブチーム的な内容になってきて、恐らく競技を突き詰めていく子たちは、例えば一軍や二軍だというふうに振り分けられて、やる気をそがれてしまうような団体がいないだろうかということは、個人的には危惧しているところでございます。</p> <p>一方で、我々は教育者として運動部活動に関わってまいりましたので、その中で子どもたちを認め励ましながら育てていくという視点は、常に持ち続けていたわけなんですけども、果たして、それが地域移行になって、その後継続されるかどうかというのも懸念材料の一つであります。</p> <p>また、先ほど指導課長から説明があった市内で二つのグループにしてという案の裏事情にはなるんですけども、こういう案で今進んでいる中には、現在にもあるわけなんですけれども、やりたくて入った部活動ではあるんですけども、時折、人間関係のもつれから、その部に所属することが難しくなってしまう。</p> <p>競技自体は好きなんだけれども、そこには居場所を失ってしまうという子が出た場合に、そういう子のグループの行き来を少し自由にしながら、ブルーの方でちょっと失敗しちゃった子が、レッドの方にチーム替えをしてもという道筋を残したいという一つの考え、それから今までは、教職員が中体連という組織の中で、色々な大会の組織・運営を自分たちの手でやってきたわけなんですけれども、地域移行になった場合に、恐らくそれは難しいであろうとなった場合には、恐らく企業さん、会社さんが行っているような冠の大会のものには出ることはあるんだろうけれども、競技によっては、例えば、バスケットボールなどは、たくさんの大会があるわけなんですけども、そうではない競技もでございます。</p> <p>その時に、市内に2チームあれば、交流戦のようなもの、市内移動ですので</p>

	<p>試合を組みやすいというか、そういう対抗戦のようなものを用いながら、運動部に関してのモチベーション、また、文化部に関してモチベーションを保たせていければなどという思いもあって、こういう2ブロックを考えたところですよ。以上です。</p>
萩原市長	<p>どうでしょうか。他に御意見ございますか。</p> <p>はい。斎藤委員。</p>
斎藤職務代理者	<p>3ページ目の本市がすすめている取組のところなんですけれども、ちょっとお聞きしたい。</p> <p>その他のところにある「学校における業務の見直しの視点」という中に、朝の業務の縮減に向けた取組というのは、具体的にはどういう点を縮減しようと考えているのかをお願いします。</p>
指導課長	<p>はい。お答えします。</p> <p>朝の業務なんですけれども、一斉の読書の時間などをちょっと割愛しながら、時間を早めていくというところ、それからまた朝の業務に関しては、2年前にコロナが始まったときに、教職員が非接触型の体温計で子どもたちの体温を測っていたというところがあります。</p> <p>それを紙媒体で集めて、一つ一つチェックしていたというのがあります。</p> <p>縮減に向けた取組の一番代表的なものに関しては、健康観察アプリを入れましたので、先生方の朝の業務を少しでも負担を軽くしていこうというところでございます。以上です。</p>
斎藤職務代理者	<p>これは、保護者に配るパンフレットになるんですか。</p>
指導課長	<p>内容とすると、このような内容を載せたいと思っているのですが、いろいろ相談しながら今日まで来たんですけれども、文字が多くて分かりづらいということであったり、何が言いたいのか分からないという御意見をいただいているところではあるので、もうちょっとすっきりさせて、分かりやすく見やすくしたいと思います。</p> <p>保護者の方には、例えば、小中学校で今年度からカリキュラムマネジメントをしながら、週29時間あった授業を週28時間に変更しながら、こちらで言うと、小中学校での5時間授業の増加というところがあるんですけれども、現在、ほとんどの小中学校は、月曜日と木曜日が5時間授業になってきています。</p> <p>これも、なぜ短くするのかというところが、保護者の方に周知徹底できていないところもあって、こういう訳なんですよということが分かるように、保護者の方、地域の方にお配りしたいというふうに考えております。以上です。</p>
斎藤職務代理者	<p>やっぱり保護者に分かるように、字面が多くなって見づらくなるということもあるんだろうけど、具体的に言ってあげることもやっぱり必要だと思うんですよね。</p> <p>先ほどの業務の縮減なんて、ちょっと分かりにくいですよ。</p> <p>朝の自習を無くすんだとか何を無くすというのは、先生方は分かるんですけれども、保護者には分かりにくい。</p> <p>この間も会議の中であった教科担任制、持ち時間の均等化みたいなものも、何のためにということになると、専門性を大事にするんだとか、空き時間を確</p>

	<p>保して教材研究の時間を作る。</p> <p>子どものためにということを大事にしてほしい。だから、必要なことは保護者のためにきちんと言った方がいい。その方がアピール度は強いと思う。</p> <p>そこら辺をちょっと工夫してもらえばというふうに思います。以上です。</p>
<p>萩原市長</p>	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p> <p>はい。膳法委員。</p>
<p>膳法委員</p>	<p>保護者としてですけれども、この文章量だと読まないと思います。</p> <p>言いたいことが具体的に何なのかが、一目で分かるような資料にしていたきたい。例えば、時間外勤務の割合が多いみたいなことが1ページ目にあると思うんですけれども、このときにメンタルヘルスで両者に差が出るとかそういうことが示されているのであれば、80時間を超えると良くないんだなと目で見て分かたりするので、ちなみに私は、プレゼンでグラフとか表をたくさん入れるようにしているので、このままだと最初の数行も読まないと思うので、もうちょっと字が減ってくれるといいなというふうに思いました。以上です。</p>
<p>萩原市長</p>	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、他に無いようなので、本日の議事は以上となります。</p> <p>委員の皆様方には、貴重な御意見をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>本日の協議を踏まえまして、それぞれの取組を進めまして、また、この総合教育会議で御協議をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、これをもちまして、私の議事進行の役目を解かせていただきます。</p> <p>委員の皆様方には、円滑な会議の運営に御協力いただきまして、ありがとうございました。</p>
<p>企画課長</p>	<p>以上をもちまして、本日の会議を閉会とさせていただきます。本日は大変お疲れ様でした。</p>